

第77期

期 末 報 告 書

(平成21年4月1日から)
(平成22年3月31日まで)



中日本興業株式会社

平成22年6月

株主の皆様へ

代表取締役社長 服部 徹

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は、格別のご支援ご愛顧を賜りまして、厚くお礼申し上げます。

さて当社は、平成22年3月31日をもって、第77期（平成21年4月1日から平成22年3月31日まで）の決算を終了いたしましたので、事業の概況等を次のとおりご報告いたします。

よろしくご高覧賜りますようお願い申し上げます。

事業の概況

当期のわが国経済は、経済対策の効果もあり、景気の後退から一部持ち直しの兆しがみられたものの、デフレ等による企業業績の低迷および雇用情勢、所得環境の先行き不安から個人の消費も低迷を続け、依然として厳しい状況で推移いたしました。

このような経営環境のもと当社グループでは、一層のサービス向上を図るとともに、積極的な営業活動、適正な経費コントロールに努めてまいりました。

この結果、売上高は38億83百万円、(前年同期比2.7%増)、営業利益は5百万円、(前年同期比46.0%増)、経常利益は85万円、当期純損失は86百万円となりました。

以下、事業別の概況をご報告申し上げます。

【シネマ事業】

平成21年の映画興行界におきましては、全国入場人員が前年比5.5%増の1億69百万人となり、興行収入は前年比5.7%増の2,060億35百万円となりました。テレビドラマやコミックと連動した作品が健闘し、2年連続で邦画が洋画を上回りました。また、「アバター」などの3D映画が大ヒットし、3D映画が広く認知されることとなり、新たな映画ファン獲得にも貢献いたしました。しかしながら、本年もスクリーン数が増加した結果、1スクリーンあたりの興行収入は減少し、厳しい状況が続いております。

このような状況のなか、「ミッドランド スクエア シネマ」では、新たに3D映画の上映設備を設置し、「ミッドランドシネマ 名古屋空港」とともに3D映画に対応させ、お客様のニーズにお応えしてまいりました。また、「ミッドランドシネマ 名古屋空港」は認知度をあげるための集客施策等が功を奏し、入場人員は順調に増加いたしました。

一方、「ピカデリー」は、下期の売上が伸び悩み、やや苦戦を強いられました。

当期は洋画が83本、邦画が80本、アニメが30本の合わせて193本を公開いたしました。主な上映作品といたしましては、洋画では、7月公開の「ハリー・ポッターと謎のプリンス」、10月公開の「マイケル・ジャクソン THIS IS IT」、12月公開の3D映画「アバター」、邦画では、5月公開の「ROOKIES－卒業－」、7月公開の「アマルフィ／女神の報酬」、アニメでは、7月公開の「ポケットモンスター アルセウス超克の時空へ」、12月公開の3D映画「カールじいさんの空飛ぶ家」などが高稼働いたしました。

当事業では、8月以降は前期を大きく下回る状況で推移いたしました。正月映画で盛り返した結果、売上高は25億20百万円（前年同期比15.4%増）、営業損失は90万円となりました。

【リラクゼーション事業】

飲食部門の名古屋市千種区の「覚王山カフェ J i. Coo.」におきましては、各種イベントの実施や季節に合ったメニュー展開を行い、お客様への浸透を図り、健闘いたしました。

温浴部門の名古屋市中川区の「太平温泉 天風の湯」および愛知県江南市の「松竹温泉 天風の湯」におきましては、ともに源泉掛け流し天然温泉を導入しており、地域に密着した癒しの施設として、住民参画型のイベント等を実施し、お客様に満足いただけるよう努めてまいりました。しかしながら、お客様の来店頻度の減少および客単価の減少などにより、収益の低下をもたらしました。

この結果、当事業の売上高は8億54百万円（前年同期比8.5%減）、営業利益は32百万円（前年同期比39.7%減）となりました。

【カルチャー事業】

TSUTAYA部門の名古屋市西区の「TSUTAYA ミュキモール 庄内通り店」におきましては、競争激化により苦戦を強いられていたことと、経営資源を集中させるため本年3月1日付けで事業譲渡いたしました。

宣伝企画部門におきましては、展示装飾および看板の製作業務、広告代理店業務、およびホームリメイクに係る業務におきまして、良質な商品を提供してまいりました。

しかしながら、顧客の広告宣伝費の圧縮や価格交渉等があり、大変厳しい状況でありました。

この結果、当事業の売上高は5億8百万円（前年同期比23.2%減）、営業損失は25百万円となりました。

本年3月1日には、業務内容を明確にし積極的な営業に努める目的で、宣伝企画部門を展示装飾および看板の製作業務・広告代理店業務を行う「中日本エージェンシー」とホームリメイクに係る業務を行う「ホームリメイク中日本」とに分けました。

対処すべき課題

今後のわが国経済は、景気が次第に回復することが期待されますものの、当面は個人消費の弱い動きが続き、依然として厳しい状況が続くものと思われまます。

当社といたしましては、本年4月1日付けで社長交代の人事を行い、新たな経営体制により、さらなる発展向上をはかる所存であります。

また、当社グループにおきましても、中長期経営計画に基づいた経営戦略を策定、遂行し、安定した収益の確保に努めてまいります。

シネマ事業では、3D映画などデジタルシネマ対応のスクリーン数の増加を図り、稼働率アップのための作品の質と本数にこだわった番組編成に努めてまいります。

売店においては、客層や上映作品を考慮し、きめ細かな商品およびサービスの提供に努めてまいります。

第78期の予定作品といたしましては、洋画では7月公開の「ソルト」、11月公開の「ハリー・ポッターと死の秘宝 (Part 1) (3D映画)」、邦画では、7月公開の「踊る大捜査線 THE MOVIE 3 ヤツらを解放せよ!」、9月公開の「THE LAST MESSAGE 海猿 (3D映画)」、12月公開の「SPACE BATTLESHIP ヤマト」、アニメでは、7月公開の「トイ・ストーリー3 (3D映画)」、スタジオジブリ製作の「借りぐらしのアリエッティ」など、3D映画を含む幅広いジャンルの良質な作品を予定いたしております。

また、本年3月末には長年にわたり多くの映画ファンに愛されてきました名古屋駅前三井ビル北館内の「ピカデリー1~4」を閉館し、名古屋駅前でのスクリーン数が不足していると認識いたしております。その現状を踏まえ、今後の出店に関しては、前向きに考えてまいりたいと思います。

リラクゼーション事業では、引き続き地域密着型運営を柱としてコミュニティーイベントの強化やサービスの充実を図り、お客様の来店頻度を増やすよう努めてまいります。

また、安全かつ安心の施設であり続けるため、細心の注意を払い運営に努めてまいります。

その他の事業では、「中日本エージェンシー」、「ホームリメイク中日本」においては、積極的な営業活動による新規顧客の獲得を図るとともに、より満足度の高いサービス・商品を提供できるよう人材の育成、技術力の強化に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

連結貸借対照表

(平成22年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資 産 の 部		負 債 の 部	
流 動 資 産	1,075,891	流 動 負 債	637,235
現金及び預金	826,724	支払手形及び買掛金	274,031
受取手形及び売掛金	75,105	1年内返済予定の長期借入金	196,192
たな卸資産	7,421	リース債務	16,304
繰延税金資産	50,690	未払金	3,590
その他	117,615	未払法人税等	3,057
貸倒引当金	△1,666	未払消費税等	44,084
		未払費用	54,317
		賞与引当金	13,550
		その他	32,108
固 定 資 産	4,109,866	固 定 負 債	1,384,857
有形固定資産	(3,074,981)	長期借入金	925,552
建物及び構築物	2,603,875	リース債務	24,456
機械装置及び運搬具	133,403	役員退職慰労引当金	89,914
工具、器具及び備品	158,549	退職給付引当金	47,106
土地	179,153	受入保証金	297,828
無形固定資産	(46,585)	負 債 合 計	2,022,093
電話加入権	1,147	純 資 産 の 部	
ソフトウェア	45,437	株 主 資 本	3,120,058
投資その他の資産	(988,299)	資本金	270,000
投資有価証券	292,705	資本剰余金	13
差入保証金	662,063	利益剰余金	2,859,870
長期前払費用	2,170	自己株式	△9,826
繰延税金資産	31,360	評価・換算差額等	43,605
		その他有価証券評価差額金	43,605
資 産 合 計	5,185,757	純 資 産 合 計	3,163,664
		負 債 純 資 産 合 計	5,185,757

(注) 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(平成21年4月1日から
平成22年3月31日まで)

(単位：千円)

科 目	金	額
売 上 高		3,883,837
売 上 原 価		1,999,779
売 上 総 利 益		1,884,058
販売費及び一般管理費		1,878,098
営 業 利 益		5,960
営 業 外 収 益		
受取利息及び配当金	5,661	
協 賛 金 収 入	7,314	
そ の 他	7,175	20,151
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	21,666	
そ の 他	3,590	25,256
経 常 利 益		855
特 別 損 失		
固 定 資 産 除 却 損	1,784	
固 定 資 産 臨 時 償 却 費	26,878	
減 損 損 失	47,135	
事 業 譲 渡 損	724	76,522
税金等調整前当期純損失		75,667
法人税、住民税及び事業税	1,018	
法 人 税 等 調 整 額	9,797	10,815
当 期 純 損 失		86,483

(注) 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

連結株主資本等変動計算書

(平成21年4月1日から
平成22年3月31日まで)

(単位：千円)

科 目	残高及び変動理由	金 額
株主資本		
資本金	前期末残高	270,000
	当期末残高	270,000
資本剰余金	前期末残高	13
	当期末残高	13
利益剰余金	前期末残高	2,978,699
	当期変動額 剰余金の配当	△32,345
	当期純損失 (△)	△86,483
	当期変動額合計	△118,828
	当期末残高	2,859,870
自己株式	前期末残高	△7,721
	当期変動額 自己株式の取得	△2,104
	当期変動額合計	△2,104
	当期末残高	△9,826
株主資本合計	前期末残高	3,240,991
	当期変動額 剰余金の配当	△32,345
	当期純損失 (△)	△86,483
	自己株式の取得	△2,104
	当期変動額合計	△120,932
	当期末残高	3,120,058
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	前期末残高	17,627
	当期変動額 株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	25,978
	当期変動額合計	25,978
	当期末残高	43,605
評価・換算差額等合計	前期末残高	17,627
	当期変動額 株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	25,978
	当期変動額合計	25,978
	当期末残高	43,605
純資産合計	前期末残高	3,258,618
	当期変動額 剰余金の配当	△32,345
	当期純損失 (△)	△86,483
	自己株式の取得	△2,104
	株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	25,978
	当期変動額合計	△94,954
	当期末残高	3,163,664

(注) 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

貸借対照表

(平成22年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資 産 の 部		負 債 の 部	
流 動 資 産	819,928	流 動 負 債	580,015
現金及び預金	644,873	未払上映料	235,056
売掛金	57,435	買掛金	12,976
商 品	4,366	1年内返済予定の 長期借入金	196,192
前払費用	25,050	リース債務	16,304
繰延税金資産	28,675	未払法人税等	2,495
そ の 他	59,908	未払消費税等	38,183
貸倒引当金	△381	未払費用	36,067
		賞与引当金	8,200
		そ の 他	34,539
固 定 資 産	4,732,337	固 定 負 債	1,380,697
有形固定資産	(3,501,264)	長期借入金	925,552
建 物	2,438,223	リース債務	24,456
構 築 物	129,820	役員退職慰労引当金	88,332
機 械 装 置	129,265	退職給付引当金	40,328
器 具 備 品	134,785	受入保証金	302,028
土 地	669,168	負 債 合 計	1,960,712
無形固定資産	(46,298)	純 資 産 の 部	
電話加入権	861	株 主 資 本	3,547,891
ソフトウェア	45,437	資 本 金	(270,000)
投資その他の資産	(1,184,774)	資 本 剰 余 金	(13)
投資有価証券	292,554	資 本 準 備 金	13
関係会社株式	45,000	利 益 剰 余 金	(3,287,704)
関係会社長期貸付金	195,000	利益準備金	67,500
差入保証金	632,498	その他利益剰余金	3,220,204
長期前払費用	2,170	配当準備積立金	480,000
繰延税金資産	19,500	別途積立金	2,380,000
貸倒引当金	△1,950	繰越利益剰余金	360,204
資 産 合 計	5,552,266	自 己 株 式	(△9,826)
		評価・換算差額等	43,661
		その他有価証券評価差額金	(43,661)
		純 資 産 合 計	3,591,553
		負 債 純 資 産 合 計	5,552,266

(注) 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

損益計算書

(平成21年4月1日から
平成22年3月31日まで)

(単位：千円)

科 目	金	額
売 上 高		2,715,231
売 上 原 価		1,426,668
売 上 総 利 益		1,288,562
販売費及び一般管理費		1,302,511
営 業 損 失		13,948
営 業 外 収 益		
受取利息及び配当金	10,846	
協 賛 金 収 入	7,314	
雑 収 入	15,762	33,923
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	21,666	
雑 損 失	3,044	24,710
経 常 損 失		4,736
特 別 利 益		
貸倒引当金戻入益		350
特 別 損 失		
固 定 資 産 除 却 損	2,025	
固 定 資 産 臨 時 償 却 費	27,363	29,388
税引前当期純損失		33,774
法人税、住民税及び事業税	456	
法 人 税 等 調 整 額	27,231	27,688
当 期 純 損 失		61,462

(注) 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

株主資本等変動計算書

(平成21年4月1日から
平成22年3月31日まで)

(単位：千円)

科 目	残高及び変動理由	金 額
株主資本 資本金	前期末残高	270,000
	当期末残高	270,000
資本剰余金 資本準備金	前期末残高	13
	当期末残高	13
資本剰余金合計	前期末残高	13
	当期末残高	13
利益剰余金 利益準備金	前期末残高	67,500
	当期末残高	67,500
その他利益剰余金 配当準備積立金	前期末残高	480,000
	当期末残高	480,000
別途積立金	前期末残高	2,380,000
	当期末残高	2,380,000
繰越利益剰余金	前期末残高	454,012
	当期変動額	剰余金の配当 △32,345 当期純損失 (△) △61,462 当期変動額合計 △93,807
	当期末残高	360,204
	利益剰余金合計	前期末残高 3,381,512 当期変動額 剰余金の配当 △32,345 当期純損失 (△) △61,462 当期変動額合計 △93,807
自己株式	当期末残高	3,287,704
	前期末残高	△7,721
	当期変動額	自己株式の取得 △2,104 当期変動額合計 △2,104
	当期末残高	△9,826
株主資本合計	前期末残高	3,643,804
	当期変動額	剰余金の配当 △32,345 当期純損失 (△) △61,462 自己株式の取得 △2,104 当期変動額合計 △95,912
	当期末残高	3,547,891
	当期末残高	3,547,891

科 目	残高及び変動理由	金 額
評価・換算差額等 その他有価証券評価差額金	前期末残高	17,691
	当期変動額 株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	25,970
	当期変動額合計	25,970
	当期末残高	43,661
評価・換算差額等合計	前期末残高	17,691
	当期変動額 株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	25,970
	当期変動額合計	25,970
	当期末残高	43,661
純資産合計	前期末残高	3,661,495
	当期変動額 剰余金の配当	△32,345
	当期純損失（△）	△61,462
	自己株式の取得	△2,104
	株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	25,970
	当期変動額合計	△69,941
	当期末残高	3,591,553

（注） 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

会 社 の 概 要 (平成22年 3 月31日現在)

設 立	昭和29年 7 月23日
資 本 金	270, 000, 000円
発行済株式総数	538, 954株 (自己株式1, 046株を除く)
株 主 数	2, 831名
従 業 員 数	32名
本 店	名古屋市中村区名駅四丁目 7 番 1 号 (ミッドランド スクエア 15階)
連 結 子 会 社	中日本商事株式会社 覚王山カフェJi. Coo. 太平温泉 天風の湯 松竹温泉 天風の湯 中日本エージェンシー ホームリメイク中日本

役 員 (平成22年 6 月24日現在)

代表取締役会長	服 部 清 純	
代表取締役社長	服 部 徹	
取 締 役	原 田 克 己	興行部担当・ 興行部部長
取 締 役	三 田 則 男	経理部担当・ 経理部上席部長
取 締 役	神 尾 隆	(社外取締役)
取 締 役	大 谷 信 義	(社外取締役)
常 勤 監 査 役	佐 藤 桂 一	
監 査 役	岡 本 藤 太	(社外監査役)
監 査 役	新 井 紀 夫	(社外監査役)

執 行 役 員 (平成22年 6 月24日現在)

執 行 役 員	貴 田 吉 晴	総務部担当・ 総務部部長
---------	---------	-----------------

「株主ご優待券」について

当社の株式1単元（100株）以上を期末（3月末日）および中間期末（9月末）に保有している株主の皆様に対し、次の要領で「株主ご優待券」を発行いたします。

3月末現在の株主の皆様は8, 9, 10月、三ヶ月間の中でご利用いただける「株主ご優待券」および11, 12、翌年1月、三ヶ月間の中でご利用いただける「株主ご優待券」を発行し、6月の定時株主総会終了後、決議通知に同封のうえ株主の皆様にご送付いたします。

9月末現在の株主の皆様は2, 3, 4月、三ヶ月間の中でご利用いただける「株主ご優待券」および5, 6, 7月、三ヶ月間の中でご利用いただける「株主ご優待券」を発行し、12月初旬に中間報告書に同封のうえ株主の皆様にご送付いたします。

発行基準

100株以上	5枚	（使用期間三ヶ月）	半期	10枚
200株以上	10枚	（使用期間三ヶ月）	半期	20枚
300株以上	15枚	（使用期間三ヶ月）	半期	30枚
400株以上	20枚	（使用期間三ヶ月）	半期	40枚
500株以上	25枚	（使用期間三ヶ月）	半期	50枚
1,000株以上	40枚	（使用期間三ヶ月）	半期	80枚
2,000株以上	50枚	（使用期間三ヶ月）	半期	100枚
4,000株以上	75枚	（使用期間三ヶ月）	半期	150枚

※ 同封の「株主ご優待券」（平成22年8月よりご利用可能分）より優待内容を一部変更させていただきます。詳細は、次ページをご参照ください。

「株主ご優待券」の取扱い変更内容

■変更前■（平成22年7月まで）

「株主ご優待券」を映画館にてご利用の場合、無料入場券としてご利用できます。（1枚で1名様有効）

【直営映画館】

ピカデリー（2スクリーン）

ミッドランドシネマ 名古屋空港（12スクリーン）

※3D映画については、ご利用不可

【共同事業体運営 映画館】

ミッドランド スクエア シネマ（7スクリーン）

※3D映画については、ご利用不可



■変更後■（平成22年8月より）

【直営映画館】

「株主ご優待券」を映画館にてご利用の場合、無料入場券としてご利用できます。（1枚で1名様有効）

ピカデリー（2スクリーン）

名古屋市中村区名駅4-9-8 センチュリー豊田ビル2F

電話番号 052-551-5461

ミッドランドシネマ 名古屋空港（12スクリーン）

愛知県西春日井郡豊山町豊場林先1-8-501

エアポートウォーク名古屋内

電話番号 0568-39-3911

※3D映画については、「ミッドランドシネマ 名古屋空港」でのみ3D鑑賞料金（300円）をご負担のうえ、ご利用可

【共同事業体運営 映画館】

「株主ご優待券」を映画館にてご利用の場合、無料入場券としてご利用できます。（1枚で1名様有効）

ミッドランド スクエア シネマ（7スクリーン）

名古屋市中村区名駅4-7-1 ミッドランドスクエア 商業棟5F

電話番号 052-527-8808

※3D映画については、ご利用不可

【子会社運営 スーパー銭湯】

「株主ご優待券」1枚と下記両店共通の「全日ご招待券」3枚を、各店の受付にて交換いたします。（「全日ご招待券」の有効期限は交換日の翌月末日となります。）

太平温泉 天風の湯

名古屋市中川区平戸町2-1-10

電話番号 052-355-4126 (<http://www.tenpunoyu.jp>)

松竹温泉 天風の湯

愛知県江南市前飛保町栄378-15

電話番号 0587-53-4126 (<http://www.tenpunoyu.jp>)

（“太字”部分は、変更箇所）

株 主 メ モ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座 口座管理機関	
同 連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料)
公告掲載新聞	中部経済新聞
上場取引所	名古屋証券取引所 第二部
証券コード	9643
インターネットアドレス	http://www.nnk-cinema.co.jp

【株式に関するお手続きの請求について】

株券電子化に伴い株式に関するお手続きは、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとされておりますので、お取引のある証券会社等にご照会ください。

なお、特別口座に記録された株式に関するお手続きは、三菱UFJ信託銀行で承っており、次のお電話およびインターネットにより24時間受け付けておりますので、ご利用ください。

電話 0120-244-479 (通話料無料)

インターネットアドレス <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

以 上